

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

予想問題集

国 語

数 学

英 語

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

国語予想問題

医療看護学部 理学療法学科・看護学科

(時間45分)

(注意事項)

1. 試験開始の合図があるまでは、この小冊子を開かないこと。
2. 試験開始後に受験番号・受験者氏名を問題用紙、解答用紙、両方の各欄に記入すること。
3. 質問があれば、黙って手をあげ監督者が来るのを待つこと。
4. 印刷不明の箇所があれば上記3 に従って申し出ること。
5. 解答は、別紙解答用紙にはっきり記入すること。
6. この小冊子に解答を記入しても採点されない。
7. この小冊子は、持ち帰ってはならない。

受験学科	受験番号	生徒氏名
理学療法学科・看護学科		

第1問 次の文章を読んで、問1～問8に答えなさい。なお、設問の都合上、表記を改めたところがある。

はじめに、私たちの扱う計算機が、AIによって質的な変化を遂げたことから話を始めよう。規模の違いはあれ、電卓から携帯電話、パソコン、スーパーコンピュータに至るまで、従来の計算機はいずれもその名の通り「計算をする機械」であった。

カ、計算機は、人間があらかじめ定めたルールと手順、すなわちアルゴリズムに従って情報処理を行う存在だった。ある条件を満たしたときはこの操作を行い、そうでなければ別の操作を行う。こうした分岐と手続きを積み重ねて問題を解くことが、計算機の基本的な役割だった。

しかし、このアプローチには限界があった。世界には、人間が明示的なアルゴリズムとして書き下すことが難しい問題が多く存在する。

キ、画像を入力して犬か猫かを識別する問題を考えてみよう。人間は多くの場合、この判断を容易に行える。しかし、その判断規則を言葉や数式として書き下そうとすると、とたんに難しくなる。こうした問題では、その問題を**ク** **カンベキ** ^(イ)に処理できていたとしても、それを可能にしている規則を明示的な形で記述することは、ほとんど不可能に近い。

実際の判断は、少数の単純な規則によってではなく、無数の要素が少しずつ寄与し合い、**フクザツ** ^(イ)に絡み合った結果として成立している。このような、**「うまくできるのに、うまく説明できない」能力** ^Aを人間は数多く持っている。

哲学や認知科学では、こうした知能の側面を暗黙知と呼んできた。人間は暗黙知を体系的に説明できないにもかかわらず、それを使いこなすことができる。言語の運用、価値判断、計画の実行といったことも暗黙知の一例である。暗黙知は仕組みを説明できない以上、アルゴリズムとして書き出すことができず、従来の計算機に同じ能力を実装することは困難だった。

この限界を**トツパ** ^(ロ)したのが、現在のAIの主流である「機械学習」というアプローチである、機械学習では、人間が規則を

直接教え込むのではなく、学習用のデータ、すなわち経験を与え、そのなかに潜む規則性を機械自身に獲得させる。

先ほどの例であれば、画像とそれに紐づく正解ラベルからなる大量の正解付きデータを通じて、AIは人間が言語化できないパターンを抽出し、それに基づいた識別を行えるようになる。

この技術は急速に洗練され、今や言語や画像といった生のデータを与えるだけで、高度な判断を勝手に行うことができるようになった。さらにデータや問題をどのように計算機上で表現するかといった「表現方法」そのものも、学習によって獲得できるようになった。ここでの表現方法とは、入力や問題から重要な特徴や構造を抽出し、計算機が扱いやすい形に変換する操作である。人間が自分の頭のなかで暗黙知によって実現していたため計算機上で難しかった中核の能力である。^(エ) テキセツな表現方法さえ獲得できれば、問題を解くこと自体は易しい。

この転換は、計算機が「規則を実行する機械」から、「規則を獲得する機械」すなわち「学習する機械」へと変貌したことを意味している。それは単なる機能向上ではなく、別の機械へと変化する出来事だった。

計算機が学習する存在へと変わったという事実は、しばしば機械側の進歩として語られる。しかし、この変化は計算機だけに起きたのとどまらない。計算機が学習するようになったことで、^B 人間側の振る舞いも、静かに、しかし決定的に変わりは始めている。

かつて人間は、前もって問題を理解し、規則を立て、それを計算機に実行させる側にいた。計算機の結果は、人間が事前に与えた手続きの帰結であり、少なくとも原理的には、その理由を説明できるという前提があった。

ケ、学習する計算機を前にすると、この前提は崩れる。機械学習によって刷新された計算機は、「なぜそう判断したのか」を説明できないまま、答えを返す存在である。結果は先に出る。しかも多くの場合、その結果は正しい。だが、なぜそれが正しいのかを人間は即座には説明できない。

私たちはコ 日常において、この変化を生きている。検索結果を見てから考え、候補案を提示されてから選び、レコメン

ドされた選択肢のなかから決め、生成された文章を眺めてから手直しをする。そこでは、人間は最初から結果を構成しているわけではなく、複数の結果を前にして、それを採用するか、修正するか、退けるかを判断している。

C
実は私たちは、AIが現れる以前から、理解できないものを一切使わずに生きてきたわけではない。医師が提示する治療方針を、薬の作用機序やすべての臨床データを完全に理解したうえで選択している人は多くない。数学者や物理学者が発見した高度な理論についても、数理的な細部を理解しないまま、その成果だけを利用している場面は日常的に存在している。例えば、相対性理論を理解している人は一部に限られるが、それに基づいたGPSによる位置測定は誰にとっても不可欠な道具になっている。

こうした状況は「理解を放棄した世界」を意味していない。そこでは、理解の代わりに、専門性、手続き、検証可能性、再現性、過去のジツセキ^(オ)といった別の根拠や制度が用いられてきた。D
を判断すること自体が、私たちの思考の一部だった。自分の理解を超えた能力を使いこなせることが私たちの強みといえる。

学習する計算機が広く使われるようになると、この構図がより前面に現れてくる。理解が先にあり、その理解に基づいて結果を出すという従来の順序は、すべての場面で維持できなくなる。結果が先に提示され、それをどのように引き受けるかを後から考える場面が、避けがたく増えていくのである。

E
しかし、これは「理解しなくてもよい世界」への転落を意味しない。むしろ逆である。結果が先に与えられる世界では、理解は選択の前提ではなく、選択を引き受け続けるための根拠として、より強く要請される。理解できていないままでも結果を受け入れることはできる。だがその結果がもたらす影響や責任を引き受け続けるためには、理解を支える別の根拠が不可欠となる。

F
学習する計算機の登場は、人間が理解できないものを無批判に受け入れる世界への移行を意味するのではなく、理解・判断・責任の関係を、私たち自身が改めて組み直さざるをえなくなったという兆候なのである。私たちは、理解する前にその結果

を使う場面が増えていく世界にすでに足を踏み入れている。しかし、
間の側にある。

その答えをどう扱うかを決める主体は、依然として人

（岡野原大輔『ヒトとA I』より）

問1 二重傍線部（ア）から（オ）の漢字に相当する漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選
びなさい。

（ア）カンペキ

- ① 尺璧非宝という四字熟語。
- ② 外壁をきれいに塗る。
- ③ 辟易する。
- ④ 悪癖を指摘される。
- ⑤ 紺碧の海にのぞむ。

（イ）フクザツ

- ① 副議長に立候補する。
- ② 服飾費がかさむ。
- ③ 複数名が参加した。
- ④ 往復切符を買う。
- ⑤ 覆面調査員になる。

(ウ)
トッ
パ

- ① 発破を仕掛ける。
- ② 中途半端な考え方。
- ③ 敵の一派が潜んでいる。
- ④ 十把ひとからげ。
- ⑤ 十羽の白鳥が飛来した。

(エ)
テキ
セツ

- ① 敵陣を攻め入った。
- ② 一滴の水。
- ③ 指摘をする。
- ④ 適宜の判断をかける。
- ⑤ 鼓笛隊に入る。

(オ)
ジッ
セキ

- ① 責任感が高い。
- ② 積載量を超える。
- ③ 成績が上がる。
- ④ 書籍を読む。
- ⑤ 寂寞とした世界。

問2 空欄部

カ

コ

 にあてはまる言葉として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つずつ選びなさい。ただし、

同じ記号は一度しか使ってはならない。

- ① しかも ② しかし ③ 例えば ④ 仮に ⑤ つまり

問3 傍線部Aについて、このように述べるのは、筆者が人間と計算機の間係をどのようなものだと考えているからか。その

説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 人間が経験によってすでに身につけているにもかかわらず、身体を持たない計算機には学習できないから。
② 理論上は計算機で表現することは容易であるにもかかわらず、人間にとって複雑すぎて判断できないから。
③ 計算機は人間よりも速く正確に判断できるにもかかわらず、人間がその結果を利用するのが難しいから。
④ 人間が実際には容易に行えるにもかかわらず、その判断を支える規則を明示的に言語化するのが難しいから。
⑤ 使用されるのは少しずつであるにもかかわらず、とても多くの要素が複雑にかかわりあっているから。

問4 傍線部Bとは、「人間側の振る舞い」がどのようなものにならってきたと述べているのか。最も適切なものを一つ選びなさい。

- ① AIが適切に振る舞えるよう、人間が事前に手続きを与えるようになってきたということ。
- ② AI提示する答えの妥当性を説明できないまま、人間はAIの返す答えを利用するようになったこと。
- ③ 人間同士が話し合うことを避けて、個々人がAIの判断を利用するようになったということ。
- ④ 人間がAIに規則を一つずつ入力し、その結果を実行する場面が増えてきたということ。
- ⑤ 人間がAIに規則を入力するのを諦めて、AIの出てきた結果に従属するようになったこと。

問5 傍線部Cについて、筆者が医師の「治療方針」や「GPS」を例示したのは、どのような考えを伝えたかったからか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① AI登場以前から、専門的な仕組みを理解しなくても、信頼の根拠を用いて活用したことを示すため。
- ② AIの登場以前から、AIの判断よりも人間の専門家による判断の方が優れていることを示すため。
- ③ AIの登場以前から、医療や物理学では、専門家でも自分の知識を十分に説明できないことを示すため。
- ④ AIの登場以前から、科学技術の成果は、利用者がその理論を理解しなければ普及しないことを示すため。
- ⑤ AIの登場以前から、人間は専門的な仕組みが理解できない領域に対して恐怖を抱きやすいことを示すため。

問 6 空欄 D にはどんな語句が入るか。最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 専門書を読み込んで、専門知を身につけるために最適な方法
- ② 理解を放棄することなく、専門的な内容について学び続けるか
- ③ どこまで自分で理解し、どこから他者や社会的な仕組みに委ねるか
- ④ 理解の代わりに別の根拠や制度に、全面的に身を委ねること
- ⑤ 専門家も間違えるかもしれないということを考慮に入れた安全性

問 7 傍線部 E について、どんな考えから筆者はこのように言うのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① 結果が先に与えられるようになれば、人間は結果の正しさを考えなくなるから。
- ② 結果が先に与えられる世界では、理解は判断や選択の根拠として重要だから。
- ③ 結果が先に与えられることで、A I の判断過程を正確に理解できるようになるから。
- ④ 結果が先に与えられることで、人間が今まで以上に他者の判断に依存しやすくなるから。
- ⑤ 結果が先に与えられる世界では、理解力が高い方が有利に生きていけるから。

問 8 傍線部 F「その答えをどう扱うかを決める主体は、依然として人間の側にある」について、なぜこのようなことが言えるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選びなさい。

- ① A I が提示した結果を理解できなくても、人間はその影響や責任を引き受け採否を判断しなければならないから。
- ② A I の結果が必ずしも正しいとは限らないため、人間は常にその結果を疑ってかかり、否定しなければならないから。
- ③ 機械学習は人間の思考プロセスに似ているため、A I の計算能力は従来の計算機よりも速度が劣っているから。
- ④ A I が学習するためには、判断に必要な人間がすべての規則を判断し、設定し、事前に入力しなければならないから。
- ⑤ 高度な判断を行うことができるようになった A I は、人間同様、常に誤った判断を下す存在になってしまったから。

第2問 次の各問い（問1～問5）に答えなさい。

問1 次のア～オの四字熟語の空欄にあてはまる漢字として、最も適当なものを一つずつ選びなさい。

ア（ ）機応変				
① 適	② 当	③ 即	④ 随	⑤ 臨
イ（ ）柔不断				
① 優	② 温	③ 意	④ 因	⑥ 剛
ウ前（ ）未聞				
① 人	② 後	③ 代	④ 先	⑤ 傾
エ（ ）載一遇				
① 一	② 百	③ 千	④ 万	⑤ 滅
オ朝令暮（ ）				
① 令	② 夕	③ 改	④ 参	⑤ 死

問2 次のア～オの成句の空欄にあてはまる漢字として、最も適当なものを一つずつ選びなさい。

ア () に衣を着せぬ

- ① 孫
- ② 餌
- ③ 目
- ④ 齒
- ⑤ 口

イ 二の () を踏む

- ① 次
- ② 足
- ③ 手
- ④ 轍
- ⑤ 句

ウ 水 () に帰す

- ① 泡
- ② 魚
- ③ 鏡
- ④ 垢
- ⑤ 氷

エ 藪をつついて () を出す

- ① 鬼
- ② 蛇
- ③ 毒
- ④ 悪
- ⑤ 宝

オ () から出たさび

- ① 棚
- ② 鉄
- ③ 刀
- ④ 身
- ⑤ 猫

問3 次のア～ウの語句の対義語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 弊害

イ 簡潔

ウ 慎重

- ① 否認
- ② 大胆
- ③ 軽率
- ④ 冗長
- ⑤ 利点

問4 次のア～ウの語句の類義語として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 示唆

イ 検討

ウ 平易

- ① 吟味
- ② 暗示
- ③ 断定
- ④ 簡単
- ⑤ 困難

問5 次のア～ウの漢字の読みと同じ読みの漢字として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。

ア 乖離

① 有無

②

退出

③

階段

④

華美

⑤

判定

イ 錯綜

① 内科

②

貢献

③

不安

④

作戦

⑤

水流

ウ 脅威

① 胸囲

②

尊敬

③

潮流

④

冒険

⑤

探索

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

国語予想問題

解答と解説

【第1問 解答】

問1	ア	①	イ	③					
問2	カ	⑤	キ	③					
問3		④							
問4		②	ク	④					
問5		①							
問6		③							
問7		②							
問8		①							
					ケ	②			
					コ	①			
							エ	④	
							オ	③	

【第1問 解説】

問1 (ア)の「カンペキ」は完璧。「壁」は宝石のことで、貴重なものや完全な様子を表す。「壁」と書き間違える誤字が多い。正確に覚えよう。①「尺璧」は、大きな宝石のこと。「尺璧非宝(せきへきひほう)」で、「どんなに大きな宝石であっても、時間に比べればたいした価値ではない」という意味の四字熟語を作る。尺璧はとても大きな宝石のこと。やや難しい四字熟語ではあるが、問題2で慣用表現や四字熟語が出題されることも考慮に入れて、ついでに覚えておこう。(イ)の「フクザツ」は複雑。「複」はたくさんあること、「復」は繰り返されること。よく似た漢字は区別をつけよう。(ウ)の「トツパ」は突破。なお、①「発破」は爆弾のこと。(エ)の「テキセツ」は適切。これも、「摘」「滴」と区別して覚えよう。(オ)の「ジッセキ」は実績。単に積み上げる「積」と区別をつけよう。いずれの場合も、傍線部の漢字は基本的なものばかりだ。選択肢の難しさに惑わされることなく、基本的な漢字が思い浮かぶように練習しておこう。

問2 接続詞および副詞は、空欄補充で問われやすい。空欄の前後をよく読んで、根拠をもって判断できるように練習しよう。力は、前後がやや読みにくい箇所であり、判断に迷う。しかし、「従来の機械（電卓、携帯電話、パソコン、スーパーコンピュータ）」の方法が説明された第1、第2段落と、その「アプローチに限界があった」ことを示す第2段落以降の対比を手がかりにすると、第1段落と第2段落は同内容を示す接続詞が入ると判断できる。同内容ではあるが空欄以後が具体例ではないため、「⑤つまり」が入る。キは、空欄直後が、「アプローチには限界があった。」という直前の記述の具体例が挙げられているため、「③例えば」が入る。クは、空欄の直後が「〜ていたとしても」と仮定の表現があるため、呼応の福祉である「③仮に」が入る。ケは、直前の「前提があった。」と直後の「前提は崩れる。」が相反しているため、逆接の「②しかし」が入る。コは、3段落前最終行、傍線部Cが手がかりとなる。計算機の変化が人間の行動に影響を与え始めていることが示されているが、日常生活（AIを使うときなど）においては、変化し始めているのではなく、「①すでに」変化を生きているのである。

問3 傍線部近辺の指示語が重要な手がかりとなる。傍線部Aの直前に「このような」、直後（次段落）に「こうした」という指示語がある。直前は「できる」「できない」という説明になっていないが、直後（次段落）は、人間が説明「できない」にもかかわらず、それを使いこなすことが「できる」暗黙知について説明している。「できる」と「できない」の順番は逆だが、「できる」と「できない」を説明している傍線部と対応している。したがって、「仕組みを説明できないのにできる」という人間の能力を説明した④が正解。身体を持つか持たないかの差ではないため、①は間違い。人間ができるけれど説明できない事柄は計算機に「実装することは困難だった」と本文に書かれているので、②の「計算機で表現することができる」という部分が誤り。同様の理由から、計算機にできて人間にできないとしている③も誤り。直前の記述に似ている⑤につられないよう、注意しよう。

問4 傍線部B以下を読んでいくと、「かつては人間が前もって理解し規則を立てたことを計算機に実行させた」が、「機械学習する計算機は、判断の根拠を説明できないのに答えを出す」ようになったという。そして私たち人間は、この変化を日常的

に経験していることが示された。この変化を正確に押さえているのは、AIが説明できないまま答えを返し、それを人間が利用しているという内容を説明した②が正解。①および④は、かつての人間と機械の関係を説明しており、間違い。③は、人間同士が話し合いをさけるようになったという記述が、本文のどこにも示されていないため、間違い。⑤は、人間が「諦め」で「従属」したという説明が誤り。

問5 傍線部Cを含む段落を「こうした」で引き受けている次の段落では、人間が理解の代わりに別の根拠や制度を用いることで、自分の理解を超えた能力を使いこなせることが説明されている。つまり、「治療方針」や「GPS」は、今までも、理解できなくても人間は技術を使ってきたことの例として理解できる。それを説明しているのは①だ。②は優劣を論じている点が誤り。専門知を一般の人が理解せずに使っている例であるから、専門家が理解できていないとする点が③の誤り。④も、理解しないと使えないという点が、理解せずに使っているという本文の内容と矛盾する。本文で恐怖について論じていないので、⑤の「恐怖」が誤り。

問6 空欄の前では、「理解の代わり」として「別の根拠や制度が用いられてきた」とは、自分で理解しなくても、理解の代わりとなるような制度を利用していることを、「『理解を放棄した世界』を意味していない」ことを意味している。また、直後の一文で、「自分の理解を超えた能力を使いこなせることが私たちの強み」だとしていることから、自分が理解できないことを専門家によって根拠づける姿勢は、理解の放棄ではないということが読み取れる。①は「専門知を身につける」が間違い。②も「専門的な内容について学び続ける」が誤り。専門家の誤りがもたらす危険性について、本文は触れていないので⑤も誤り。④は似たような近辺の文言を用いているが、「全面的に身を委ねる」受動性は、空欄直後の「判断」とはほど遠く、誤り。どこまで理解し、どこから専門家や制度に任せるかを「判断」とした、③が正解。

問7 理解を「別の根拠や制度」に任せることで、自分の理解を超えた能力を使いこなすという従来からある人間の選択は、機械学習するAIの登場で、より避けがたく増えていくことが、直前の段落で示された。しかしそれは『理解しなくてもよい

世界』への転落」の逆だというのである。傍線部直後を読むと、そのような状況下で「結果がもたらす影響や責任」を人間が引き受けるためには、「理解を支える別の根拠」が重要だと指摘している。判断や選択（結果）の根拠に触れているのは、②のみである。①は「結果の正しさ」しか見ておらず、誤り。A Iの判断過程がわからない中で人間が何を根拠にA Iの示した結果を選択するのが問題になるのであるから、③は逆。④は「他人の判断に依存」、⑤は「有利に生きていける」という着眼が、いずれも誤り。

問 8 問 7と同趣旨の問題である。A Iの利用が当たり前の時代において、人間が予め正解を理解したり、判断の枠組みを規則として機械に提示することなく、人間のように「うまくできるのに、うまく説明できない」（傍線部A）能力を発揮して答えを出してきたA Iに対して、その答えを使うか使わないか、使うとしたらどう使うか、なぜそうするのかといった判断は、むしろ今まで以上に人間に突きつけられてきたという主張を正確に読み取り、判断しよう。正解は、①。②は、「常に否定しなければならぬ」が誤り。③は、過去できなかったことができるようになったのが機械学習をするA Iなので、誤り。④は、事前に入力していたのはかつてのやり方であり、誤り。⑤は、「常に誤った判断を下す存在」になったという点が誤り。

【第2問 解答】

問1	ア	⑤	イ	①	ウ	③	エ	③	オ	③
問2	ア	④	イ	②	ウ	①	エ	②	オ	④
問3	ア	⑤	イ	④	ウ	③				
問4	ア	②	イ	①	ウ	④				

【第2問 解説】

問1

ア 「臨機応変は（りんきおうへん）」は、その場の急激な変化に合わせて、最善の方法を考え行動をとること。「臨機」はその場の状況に向き合うこと、「応変」は状況の変化に合わせて上手く対応すること。

イ 「優柔不断（ゆうじゅうふだん）」は、物事をなかなか決められず、迷ってばかりいる様子。「優柔」は態度が煮え切らず、ぐずぐずすること、「不断」は決断力がなく、決断できない様。

ウ 「前代未聞（ぜんだいみもん）」は、今まで一度も聞いたことがないほど、非常に珍しいことやあり得ないこと。「前代」は以前、「未聞」は未だ聞いたことがないこと。

エ 「千載一遇（せんざいいちぐう）」は、千年に一度しか巡り会えないくらい、滅多にないチャンスのこと。「千載」は千年、「一遇」は一度出会うこと。

オ 「朝令暮改（ちょうれいぼかい）」は、朝出した方針や命令を、その日の夕方に換えてしまうこと。転じて、ルールや意見などが短期間で代わり、定まらないことを批判する際に用いる。

問2

ア 「歯に衣を着せぬ」は、相手に遠慮せず、あるいは言葉を飾らないで、思ったことを包み隠さず言うこと。
イ 「二の足を踏む」は、ためらうこと、躊躇^{ちゆうちよ}すること。
ウ 「水泡に帰す」は、せっかくの努力や苦労が水の泡となって消えること。努力が無駄になること。
エ 「やぶをつついて蛇を出す」は、しなくてもよい余計なことをしたため、災難に見舞われること。
オ 「身から出たさび」は、自分の悪い行いが原因で、自分が苦しい目に遭うこと。

問3

「弊害」は、ほかのものと与える悪い影響や害悪のこと。
「簡潔」は、無駄な飾りがないこと
「慎重」は、注意深いさま。
「否認」は、事実として認めないこと。
「大胆」は、度胸がすわっていて、思い切りがよいこと。
「軽率」は、軽々しいこと。
「冗長」は、無駄が多くてくだいこと。
「利点」は、物事における有利な点。

問4

「示唆」は、ほのめかすこと
「検討」は、物事を様々な角度からじっくり調べ、考えること。
「平易」は、易しいこと、簡単であること。

「吟味」は、物事を念入りに調べること。

「暗示」は、ほのめかすこと。

「断定」は、言い切ること。

「簡単」は、易しいこと。

「困難」は、難しいこと。

問 5

「乖離（かいり）」は、かけ離れていること。

「錯綜（さくそう）」は、入り乱れてわかりにくくなっていること。

「脅威（きょうい）」は、強い力で脅かされ、恐ろしさを感じることに。

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

数学予想問題

医療看護学部 理学療法学科・看護学科

(時間45分)

(注意事項)

1. 試験開始の合図があるまでは、この小冊子を開かないこと。
2. 試験開始後に受験番号・受験者氏名を問題用紙、解答用紙、両方の各欄に記入すること。
3. 質問があれば、黙って手をあげ監督者が来るのを待つこと。
4. 印刷不明の箇所があれば上記3 に従って申し出ること。
5. 解答は、別紙解答用紙にはっきり記入すること。
6. この小冊子に解答を記入しても採点されない。
7. 問題用紙の余白は計算に使ってもかまわない。
ただし、採点されないので注意すること。
8. この小冊子は、持ち帰ってはならない。

受験学科	受験番号	生徒氏名
理学療法学科・看護学科		

第1問

(1) $x^2 - xy - 6y^2 + x + 17y - 12$ を因数分解せよ。

(2) 循環小数 $3.\dot{4}5$ を分数の形で表せ。

(3) $x = \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}}$ 、 $y = \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

① $x^2 + y^2$

② $x^3 + y^3$

(4) 2次関数 $f(x)$ が $y = 1$ で y 軸と交わり、 $(2, -3)$ を頂点に持つ。
この時の2次関数 $f(x)$ を求めよ。

(5) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2 \sin^2 \theta - 3 \sin \theta + 1 = 0$ を満たす θ を求めよ。

(6) 次の表は、ある高校で生徒45人に対して10点満点の小テストを行った結果である。

得点 (点)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数 (人)	1	2	2	3	5	7	9	7	4	3	2

このデータについて、次の問いに答えよ。

① 四分位範囲を求めよ。

② はこひげ図をかけ。

問題用紙の余白は計算に使ってもかまわない。ただし、採点されないので注意すること。

第 2 問

$y = x^2$ で表される放物線 C が傾き 4 の直線 l と点 A で接するとき、次の問いに答えよ。

(1) 直線 l の式を求めよ。

(2) 接点 A を求めよ。

次に直線 l が x 軸と交わる点を B とする。

(3) 交点 B を求めよ。

(4) 線分 AB の長さを求めよ。

問題用紙の余白は計算に使ってもかまわない。ただし、採点されないので注意すること。

第3問

出目が1、2、3、5、7、9からなる大小2個のさいころがある。これらのサイコロを使って2桁の整数を作るとき、次の問いに答えよ。ただし、サイコロ大は十の位・サイコロ小は一の位とする。

(1) 2桁の整数が7の倍数になる確率を求めよ。

(2) 2桁の整数が9の倍数になる確率を求めよ。

次に同様の操作を2回実施し、2桁の整数をもう一つ作った。作成した2つの整数の積について、次の問いに答えよ。

(3) 2つの整数の積が9の倍数になる確率を求めよ。

(4) 2つの整数の積が63の倍数になる確率を求めよ。

問題用紙の余白は計算に使ってもかまわない。ただし、採点されないので注意すること。

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

数学予想問題

解答と解説

第1問

(1) $x^2 - xy - 6y^2 + x + 17y - 12$ を因数分解せよ。

$$x^2 - xy - 6y^2 + x + 17y - 12$$

$$= x^2 - (y - 1)x - (6y^2 - 17y + 12) \quad * x \text{ について降べきの順に並び変える}$$

$$= x^2 - (y - 1)x - (3y - 4)(2y - 3) \quad * y \text{ について因数分解する。}$$

$$= (x - 3y + 4)(x + 2y - 3)$$

(2) 循環小数 $3.\dot{4}\dot{5}$ を分数の形で表せ。

$x = 3.\dot{4}\dot{5}$ とおくと、 $100x = 345.\dot{4}\dot{5}$ となる。これらの辺々差をとると

$$\begin{array}{r} 100x = 345.4545 \cdots \\ - \quad x = 3.4545 \cdots \\ \hline 99x = 342 \end{array}$$

となる。

$$99x = 342$$

$$x = \frac{342}{99}$$

$$x = \frac{38}{11}$$

(3) $x = \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}}$ 、 $y = \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}$ のとき、次の式の値を求めよ。

① $x^2 + y^2$

② $x^3 + y^3$

* そのまま代入しても解答は可能だが、一工夫加えてみたい。

① $x^2 + y^2 = (x + y)^2 - 2xy$ に $x = \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}}$ 、 $y = \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}$ を代入する。

$$\begin{aligned} &= \left(\frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}} + \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}} \right)^2 - 2 \cdot \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}} \cdot \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}} \\ &= \left(\frac{3(\sqrt{5} - \sqrt{2}) + 3(\sqrt{5} + \sqrt{2})}{(\sqrt{5} + \sqrt{2})(\sqrt{5} - \sqrt{2})} \right)^2 - 6 \\ &= \left(\frac{3 \times 2\sqrt{5}}{5 - 2} \right)^2 - 6 \\ &= 20 - 6 = 14 \end{aligned}$$

② $x^3 + y^3 = (x + y)(x^2 - xy + y^2)$ に $x = \frac{3}{\sqrt{5} + \sqrt{2}}$ 、 $y = \frac{3}{\sqrt{5} - \sqrt{2}}$ を代入する。

$$= 2\sqrt{5}(14 - 3) = 22\sqrt{5}$$

(4) 2次関数 $f(x)$ が $y = 1$ で y 軸と交わり、 $(2, -3)$ を頂点に持つ。
この時の2次関数 $f(x)$ を求めよ。

2次関数 $f(x)$ は $(2, -3)$ を頂点に持つので、0でない定数 a を用いて

$$\begin{aligned} f(x) &= a(x - 2)^2 - 3 \\ &= ax^2 - 4ax + 4a - 3 \end{aligned}$$

とおける。これが $y=1$ で y 軸と交わるので

$$4a - 3 = 1 \text{ となり}$$

$$a = 1 \text{ となる。}$$

$$\therefore f(x) = x^2 - 4x + 1$$

(5) $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ のとき、 $2 \sin^2 \theta - 3 \sin \theta + 1 = 0$ を満たす θ を求めよ。

* $\sin \theta$ を一つの文字と考えて因数分解していく。

$$2 \sin^2 \theta - 3 \sin \theta + 1 = (\sin \theta - 1)(2 \sin \theta - 1)$$

$$= 2(\sin \theta - 1) \left(\sin \theta - \frac{1}{2} \right)$$

$$2(\sin \theta - 1) \left(\sin \theta - \frac{1}{2} \right) = 0 \text{ より } \sin \theta = \frac{1}{2}, 1 \text{ となる。}$$

また $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ から

$\theta = 30^\circ, 90^\circ, 150^\circ$ となる。

(6) 次の表は、ある高校で生徒45人に対して10点満点の小テストを行った結果である。

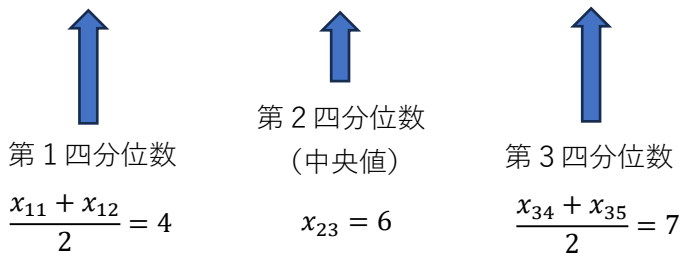
得点 (点)	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
人数 (人)	1	2	2	3	5	7	9	7	4	3	2

このデータについて、次の問いに答えよ。

- ① 四分位範囲を求めよ。
- ② はこひげ図をかけ。

得点を小さい順に並べ、それぞれを $x_1, x_2, x_3, \dots, x_{45}$ とおく。

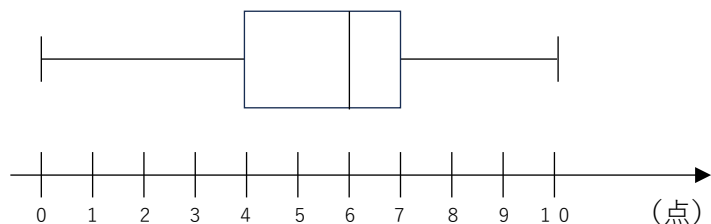
$x_1 \sim x_{11}$ $x_{12} \sim x_{22}$ x_{23} $x_{24} \sim x_{34}$ $x_{35} \sim x_{45}$



- ① 四分位範囲は第3四分位数－第1四分位数より

$$7 - 4 = 3$$

②



第2問

$y = x^2$ で表される放物線Cが傾き4の直線 l と点Aで接するとき、次の問いに答えよ。

(1) 直線 l の式を求めよ。

(2) 接点Aを求めよ。

次に直線 l が x 軸と交わる点をBとする。

(3) 交点Bを求めよ。

(4) 線分ABの長さを求めよ。

(1) 直線 l の傾きが4であることより $l: y = 4x + b$ とおく。

これが放物線Cと接するので

$$x^2 = 4x + b$$

$$x^2 - 4x - b = 0$$

の判別式が0となる。

$$D = 16 + 4b = 0 \text{ より } b = -4$$

∴ 求める直線の式は $y = 4x - 4$

(2) 直線 l と放物線Cを辺々引いて

$$x^2 - 4x + 4 = 0$$

$$(x - 2)^2 = 0$$

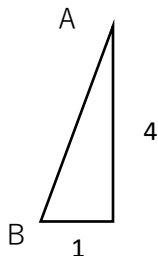
∴ 接点Aの座標は $x = 2, y = 4$

(3) 直線 $l: y = 4x - 4$ が x 軸と交わるので、 $y = 0$ を代入する。

$$0 = 4x - 4 \text{ より } x = 1$$

∴ 交点Bの座標は $x = 1, y = 0$

(4)



線分ABの長さは三平方の定理より

$$AB = \pm\sqrt{4^2 + 1^2}$$

$$= \pm\sqrt{17}$$

$AB > 0$ より

$$AB = \sqrt{17}$$

第3問

出目が1、2、3、5、7、9からなる大小2個のさいころがある。これらのサイコロを使って2桁の整数を作るとき、次の問いに答えよ。ただし、サイコロ大は十の位・サイコロ小は一の位とする。

(1) 2桁の整数が7の倍数になる確率を求めよ。

(2) 2桁の整数が9の倍数になる確率を求めよ。

次に同様の操作を2回実施し、2桁の整数をもう一つ作った。作成した2つの整数の積について、次の問いに答えよ。

(3) 2つの整数の積が9の倍数になる確率を求めよ。

(4) 2つの整数の積が63の倍数になる確率を求めよ。

(1) 2桁の整数が7の倍数になるのは、 $21 \cdot 35 \cdot 77 \cdot 91$ の4通り。

全事象は $6 \times 6 = 36$ であるので

求める確率は $\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$ となる。

(2) 2桁の整数が9の倍数になるのは、 $27 \cdot 72 \cdot 99$ の3通り。

全事象が36であることより、求める確率は $\frac{3}{36} = \frac{1}{12}$ となる。

(3) 作成可能な2桁の整数を以下の性質に分類する

① 9の倍数

(2) より3通り

② 3の倍数だが、9の倍数ではないもの

$12 \cdot 21 \cdot 15 \cdot 51 \cdot 39 \cdot 93 \cdot 33 \cdot 57 \cdot 75$ より9通り

③ 3の倍数ではないもの

$36 - 3 - 9 = 24$ より24通り

上記を踏まえ、2つの整数の積が9の倍数になるためには

i) どちらか一方の整数が9の倍数

$36^2 - (36 - 3)^2 = 207$ より207通り

ii) 両方とも②を満たす整数

$9 \times 9 = 81$ より81通り

が存在し、合計288通りとなる。

全事象は 36^2 より求める確率は $\frac{288}{36^2} = \frac{2}{9}$ となる。

(4) 2つの整数の積が63の倍数になるためには

i) 【7の倍数】×【9の倍数】と【9の倍数】×【7の倍数】

これらは重複なく数えることが出来、同値となる。

(1) (2) より $4 \times 3 \times 2 = 24$ 24通り

ii) $21 \times$ 【9の倍数を除く3の倍数】と【9の倍数を除く3の倍数】 $\times 21$

これらは 21×21 を重複して数えるため除外する

$9 \times 2 - 1 = 17$ 17通り

があり、合計41通りとなる。

全事象は 36^2 より求める確率は $\frac{41}{36^2} = \frac{41}{1296}$ となる。

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

英語予想問題

医療看護学部 理学療法学科・看護学科

(時間45分)

(注意事項)

1. 試験開始の合図があるまでは、この小冊子を開かないこと。
2. 試験開始後に受験番号・受験者氏名を問題用紙、解答用紙、両方の各欄に記入すること。
3. 質問があれば、黙って手をあげ監督者が来るのを待つこと。
4. 印刷不明の箇所があれば上記3 に従って申し出ること。
5. 解答は、別紙解答用紙にはっきり記入すること。
6. この小冊子に解答を記入しても採点されない。
7. この小冊子は、持ち帰ってはならない。

受験学科	受験番号	生徒氏名
理学療法学科・看護学科		

I 次の問1～問8の[]に入る最も適切なものを、それぞれ次の①～④から1つずつ選びなさい。

問1 She felt a little scared when she was [] a stranger on the train.

- ① speaking by ② speaking to by ③ spoken to ④ spoken to by

問2 A whale is [] a mammal than a horse is.

- ① no less ② no more ③ not less ④ not more

問3 If he had followed her advice then, he would [] a millionaire now.

- ① be ② have ③ have been ④ have had

問4 If he ever talks with them, he may find [] easier to convince them of his innocence.

- ① it ② one ③ this ④ that

問5 Now you are a high school student, you must be [] up early in the morning.

- ① use to get ② used to get ③ used to getting ④ using to getting

問6 [] the accident, he immediately called for an ambulance.

- ① See ② Seeing ③ Seen ④ To see

問7 He is always kind to other people, [] is the reason everyone likes him very much.

- ① it ② that ③ which ④ why

問8 She is going to retire next week. She [] at this university for forty years then.

- ① has been teaching ② is teaching
③ will be teaching ④ will have been teaching

Ⅱ 次の問 1 ～問 4 の英文が表す単語として最も適切なものを、それぞれ次の①～④から 1 つずつ選びなさい。

問 1 The scientific study of the universe and natural objects in space.

- ① astrologer ② astrology ③ astronaut ④ astronomy

問 2 A scientific tool that uses lenses or beams of light to make small things look bigger.

- ① microphone ② microscope ③ telepathy ④ telephone

問 3 A piece of unverified information passed from person to person without official confirmation.

- ① fact ② proof ③ rumor ④ story

問 4 A state of not understanding what is happening or a messy mix-up of things and ideas.

- ① combustion ② composition ③ conception ④ confusion

Ⅲ 次の問1～問4の文の意味を表すように、[]にあてはまる最も適切なものを、それぞれ次の①～④から1つずつ選びなさい。

問1 なぜここに車を停めることになっていると思いますか。

Why [] supposed to park your car here?

- ① are you think do you
- ② are you think you do
- ③ do you think are you
- ④ do you think you are

問2 彼は100万円もお金をかけて専門店でそのカメラを修理してもらった。

He spent one million yen [] at a specialty shop.

- ① have the camera to fixed
- ② have to fixed the camera
- ③ to have fixed the camera
- ④ to have the camera fixed

問3 彼女はそのような話をそれまでの人生で一度も聞いたことがなかった。

Never [] heard such a story.

- ① in her life had she
- ② in her life she had
- ③ she in her life had
- ④ she had in her life

問4 彼らが私たちに渡した手引きは私にはまったく理解できないものである。

The manual [] all Greek to me.

- ① is given they have us
- ② is given us they have
- ③ they have given us is
- ④ they have us given is

IV 次の会話文の空所 [1] ～ [5]に入る最も適切な文を、下の ①～⑤のうちからそれぞれ1つずつ選びなさい。

At a college campus

Martha : We have now finished our morning classes. [1]

Hinako : Thank you, but I have my lunch with me as usual. So, if you go to the cafeteria, I'll come along and eat it there with you.

Martha : You make your lunch by yourself, don't you? [2]

Hinako : Well, I like this country very much, but I'm not happy with eating a hamburger, French fries, and a coke every day. [3]

Martha : And your lunch always look delicious. It almost looks like a piece of art! How do you get the ingredients?

Hinako : My mother regularly sends Japanese foods in special plastic bags to me. [4] When you just heat them in a microwave, they are ready!

Martha : Oh, that's news to me. You Japanese people are really good at inventing things.

Hinako : Maybe ... Plus, if you make your own meals, you can make them healthier. You can try to use less salt and add more vegetables.

Martha : [5] I admire you!

Hinako : Thank you. One more thing to say, cooking can make us relaxed during our busy schedule. Why don't you make your lunch tomorrow?

- ① I can't believe you get up early enough every day!
- ② It makes me a little sick sometimes.
- ③ They are very convenient.
- ④ Why don't we go for lunch together?
- ⑤ You are not just diligent but also highly health-conscious.

V 次の英文を読んで、問 1 ～問 7 に答えなさい。

Fewer young Japanese acquire a driver's license these days. According to a survey by an [1]insurance company in 2025, the percentage of those with a driver's license at the age of 20 was 51.3%, down from 61.2% in 2023. Young people may simply not be interested in driving, [あ] there should be other reasons behind this trend as well.

Firstly, living conditions have greatly changed. If you live in a city, its public transportations are so developed that you don't need a car. Statistics show that those living in the city tend to obtain a driver's license later. In contrast, people in rural areas definitely need a car. They have to drive just to commute or do some shopping. This [い] in living conditions is clearly shown by the percentages of twenty-year-olds with a driver's license, 49.1% and 64.5% [2]respectively.

Secondly, there are financial [3]burdens. If you wish to drive in Japan, you first have to attend a driving school, which will cost 300,000 yen or more. Then, if you want to own a car, you have to pay not only for the car but for its maintenances and a parking place, which can be quite costly. These expenses explain why, [う] a questionnaire on car ownership, only half of the respondents who answered they "want to own a car someday" were actually "plannning to buy one soon".

Thirdly, young people seem to have started to avoid [4]physical movements. They no longer have to move much in order to work, shop or do their daily chores. All they have to move is a [え] to operate a smartphone. Especially since the Covid-19 pandemic, young people have considered it ideal that they move as little as possible in life with the help of digital technology.

There was a time when high schoolers were waiting to obtain a driver's license, buy a car, go for a drive with their friends as soon as they graduated, and it was held to be a sign of [お]. Now things have changed. In this age of diversity, equity and inclusion, young people seek to spend their limited resources more wisely on things they really want to pursue, [5]possibly in private, rather than take unnecessary responsibility for others accompanying car rides.

問1 文中に使われている次の語 [1] ～ [5] が表す意味として最も適切なものを、次の①～⑥から1つずつ選びなさい。

[1] insurance [2] respectively [3] burdens [4] physical [5] possibly

① 負担 ② できることなら ③ 精神の ④ 保険 ⑤ それぞれ ⑥ 身体的な

問2 [あ]に入る最も適切なものを、次の①～④から1つ選びなさい。

① and ② but ③ or ④ so

問3 [い]に入る最も適切なものを、次の①～④から1つ選びなさい。

① change ② consistency ③ difference ④ similarity

問4 [う]に入る最も適切なものを、次の①～④から1つ選びなさい。

① according to ② due to ③ owing to ④ thanks to

問5 [え]に入る最も適切なものを、次の①～④から1つ選びなさい。

① arm ② finger ③ hand ④ toe

問6 [お]に入る最も適切なものを、次の①～④から1つ選びなさい。

① affluence ② poverty ③ power ④ status

問7 本文の内容と一致するものを、次の①～⑤から1つ選びなさい。

① Young people in Japan have always been eager to drive a car.

② City life can make some young people hate driving very much.

③ It may cost over 300,000 yen to get a driver's license in Japan.

④ Digital technology helped us cope with the Covid-19 pandemic.

⑤ Young Japanese find it ideal to avoid as much responsibility as possible.

令和 9 年度

大阪医療大学入学試験

英語予想問題

解答と解説

I

問 1

解答：④

解説：A speak to Bで「AはBに話しかける」を表すが、その〈受動態〉はB be spoken to by Aとなる。

問 2

解答：①

解説：A be no less ～ than B beで「AはBと同様に～である」を表す。なお、A be no more ～ than B beで「AはBと同様に～でない」との違いに注意すること。

問 3

解答：①

解説：If S had *done* ～ (then), S' would *do* ... (now) で「もし（あの時）Sが～していたならば、S'は（今）…するだろう」を表す。なお、②を入れると、後半は「彼は今、億万長者を持っているだろう」という意味になってしまい文意が不自然。

問 4

解答：①

解説：S find it C to doは「Sは～することがCだとわかる」という意味を表す〈形式目的語構文〉。

問 5

解答：③

解説：be used to *doing* で「～することに慣れている」を表す。

問 6

解答：②

解説：空所からコンマまでは分詞構文であり、文の主語である he「彼」と空所に入る分詞は〈能動〉関係であると判断する。なお、④を入れると、前半は「その事故を見るために」という意味になってしまい文意が不自然。

問 7

解答：③

解説：〈S V ..., which + 名詞的要素の欠けた不完全な文〉で「…。そして[しかし]それ～」を表す。この which は前半の文（の内容）を先行詞とする〈非制限用法〉の〈関係代名詞〉。

問 8

解答：④

解説：第1文から彼女が退職するのは「来週（＝未来）」のことだとわかる。彼女が「40年間教鞭を取り続ける（＝継続）」のは〈未来〉が基準となるので〈未来完了進行形〉が正解。

Ⅱ

問 1

解答：④

解説：設問文は「宇宙や宇宙空間にある自然物の科学研究」という意味なので、「天文学」を意味する④が正解。他の選択肢は、①「占星術師」、②「占星術」、③「宇宙飛行士」という意味。

問 2

解答：②

解説：設問文は「小さな物を大きく見せるためにレンズや光の筋を用いる科学的道具」という意味なので、「顕微鏡」を意味する②が正解。他の選択肢は、①「マイク（ロフォン）」、③「テレパシー」、④「電話」という意味。

問 3

解答：③

解説：設問文は「公式な裏付けもなく、人から人へと伝えられる正しいかどうか確認されていない情報」という意味なので、「噂」を意味する③が正解。他の選択肢は、①「事実」、②「証明」、④「物語」という意味。

問 4

解答：④

解説：設問文は「何が起こっているのか理解できない状況や物事や考えがぐちゃぐちゃに混ざり合っていること」という意味なので、「混乱」を意味する④が正解。他の選択肢は、①「燃焼」、②「構成、作文」、③「概念、考え」という意味。

III

問 1

解答：④

解説：〈疑問詞 + V S ...?〉と do you think? を組み合わせると、〈疑問詞 + do you think + S V ...?〉という語順になる。ここでは Why are you supposed to park your car here? と do you think? が組み合わさっている。なお、元々は疑問文であるがゆえに V S の語順であった下線部 (are you) が、組み合わされた文では S V (you are) となっていることに注意。

問 2

解答：④

解説：空所の直前が He(S) spent(V) one million yen(O) という文構造なので、まずは「～するために」を意味する〈副詞的用法〉の〈不定詞句〉が続くと考え。また、have O *done* は「O を～してもらう[される]」という意味。以上を組み合わせると④が正解。

問 3

解答：①

解説：〈否定語〉である never を文頭におくと、続く S V の部分は〈倒置形〉、つまり疑問文の語順（ここでは had she heard）となる。なお、Never had she in her life heard ... も正しい英文だが、この語順は選択肢にはない。

問 4

解答：③

解説：the manual is all Greek to me と they have given us the manual を、〈関係代名詞〉を用いて組み合わせた文 (The manual which they have given us is all Greek to me.)。ただし、その関係代名詞 (which) はここでは省略されている。なお、S *be* all Greek to A は「S は A にはまったく理解できない (ちんぷんかんぷんだ)」という意味。

IV

解答 : [1] ④ [2] ① [3] ② [4] ③ [5] ⑤

解説 :

[1] 空所の直前でマーサは「午前の授業が終わった」、空所の直後でヒナコが「ありがとう。でも…」と応じていることから、空所でマーサが④「一緒に昼食をとりませんか？」とヒナコを誘うのが自然な会話。

[2] 空所の前で「自分はお弁当を持参している」と言うヒナコに対し、空所の直前でマーサは「自分でお弁当を作っているのですよね？」とヒナコに問いかけているので、続く空所で①「自分だったら毎朝そんなに早起きできない！」と、直前の問いかけの真意を吐露するのが自然な会話。

[3] 空所の直前でヒナコは「毎日ハンバーガーとポテトとコーラでは不満だ」と言っているので、続く空所でなぜ「不満」なのかを説明する②「そういった食べ物を食べると気持ち悪くなることもある」と発言するのが自然な会話。

[4] 空所の直前でヒナコは「母親が日本食を特別な袋に入れて送ってくれる」、直後で「レンジで温めただけで食べられる」と言っているので、その間の空所で③「それは非常に便利だ」と発言するのが自然な会話。

[5] 空所の前で「自炊すれば、健康的な食事がとれる」と言うヒナコに対し、空所の直後でマーサは「あなたを尊敬します」と言っているので、その間の空所でマーサが⑤「あなたは勤勉だけではなく健康に対する意識が高い」とヒナコを褒める発言をするのが自然な会話。

問 1

解答：[1] ④ [2] ⑤ [3] ① [4] ⑥ [5] ②

解説：[1] insurance は名詞で「保険」、[2] respectively は副詞で「それぞれ、各々」、[3] burdens は名詞 burden「負担」の複数形、[4] physical は形容詞で「身体の、物理的な」、[5] possibly は副詞で「できるなら、ひょっとすると」という意味。

問 2

解答：②

解説：空所の前にある may との組み合わせ (S may ..., but ~) で、〈譲歩〉→〈主張〉「…かもしれないが～」という論理展開を構成する。

問 3

解答：③「差」

解説：この段落の前半で「都会 (= city)」と「地方 (= rural area(s))」での生活状況の「差」が〈対比〉されていることを手がかりに、消去法的に判断する。なお、①は「変化」、②は「一貫性」、④は「類似性」という意味。

問 4

解答：①「～によると」

解説：②は「～のせいで」、③は「～のせいで」、④は「～のおかげで」という意味。

問 5

解答：②「手の指」

解説：空所を含む部分が「動かさなければならないのはスマートフォンを操作するための [え] だけである」という意味であることから消去法的に判断する。なお、①は「腕」、③は「手」、④は「足の指」という意味。

問 6

解答：①「豊かさ」

解説：空所を含む部分の前の節は「高校生が、卒業したらすぐに免許をとって、車を買って、友人とドライブすることを待ちわびていた時代があった」という意味、空所を含む部分は「それは [お] の象徴とみなされていた」という意味であることから消去法的に判断する。なお、②は「貧困」、③は「力」、④は「社会的立場」という意味。

問 7

正解：③

解説：

- ①「日本の若者はいつの時代も車を運転したがってきた」←第1段落第1文の内容（「最近、日本で運転免許を取得する若者が減っている」）に矛盾する。
- ②「都会暮らしは、一部の若者に車の運転をひどく嫌わせることになりかねない」←第2段落第2～3文の内容（「都会では、車は必要ない」＋「運転免許を取得する年齢が高い」）に関連するが、「車の運転をひどく嫌わせる」という記述はない。
- ③「日本で運転免許を取得するには 30 万円以上かかる可能性がある」←第3段落第2文の内容（「もし日本で車の運転をしたければ、まずは運転教習学校に通わなければならないが、それには 30 万円あるいはそれ以上の額がかかるだろう」）に一致する。
- ④「デジタル技術のおかげで、我々はコロナ禍に対応できた」←第4段落第4文の内容（「コロナ禍以降、若者はデジタルの助けを借りてなるべく体を動かさないことを理想とするようになった」）に関連するが、「デジタル技術のおかげで、コロナ禍に対応できた」という記述はない。
- ⑤「日本人の若者はできるだけ責任を避けることが理想的だと考えている」←第5段落第3文の内容より、「今の若者は、車に乗って他者への責任を背負うより、独りで楽しむことへお金を使う方が賢いと考えている」ことは読み取れるが、「できるだけ責任を避けることが理想的だと考えている」という記述はない。